



# ポストコロナ・BREXIT後の英国

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ロンドン事務所長 中石 齊孝

2021年7月9日



# 本日の講演内容

1. BREXITの影響
2. 英国の新型コロナウイルス対策について
3. 英国の経済状況と今後の見通し
4. 英国のポスト・コロナの産業戦略：機動力の発揮
5. 英国のライフサイエンス国家戦略
6. 英国のデジタル戦略
7. 英国の金融市場・ロンドンシティの動向

## ジェトロ・ロンドン事務所長

### 中石 齊孝

なかいし なりたか



- 東京大学法学部、ピッツバーグ大学院（国際関係論修士）卒。1989年通商産業省（現経済産業省）入省。GATT・UR交渉、日米協議、APEC/ASEMを担当、また、産学連携・産業クラスター、バイオ産業、自動車産業、リサイクル、中央省庁再編・行政改革担当等を歴任。
- 2007年からジェトロ・ニューヨークセンター。リーマンショック、オバマ新政権誕生を経験。2010年から中小企業庁で税制を担当。翌年3月に東日本大震災が発生、翌週から被災地を往復。その後、内閣官房東日本復興対策本部に出向して、復興庁設立に参画。
- 2014年から内閣官房参事官、経産省大臣官房審議官としてアベノミクス成長戦略の企画立案を担当。岩盤規制改革/サンドボックス、コーポレートガバナンス、第四次産業革命を推進。
- 2018年から官民ファンドの（株）地域経済活性化支援機構（REVIC）常務として企業再生支援、地域ファンドの組成、コロナ復興ファンド、地銀改革に参画。2020年7月から現職。

# 1-1 | BREXITの影響(1) – 物流問題はほぼ解決

- ドーバー海峡や港湾の物流問題については、英国が8億ポンドをかけてインフラを整備して人員を配置、支援対象を事実上絞込み、さらにフランス等相手国の協力を獲得。
- 結果、年初からトラックが税関手続きのために大渋滞することなく、現在も全く正常状態。

## 1. 90-10 Rule

UKとEU間の取引において90%を占める10,000社に重点化して、対策を検討して実施。(この分、中小企業対策は次の課題に)

## 2. 国境管理センターの設置、物流管理・支援施設の設置

ヒトとモノの出入りを監視・分析、混乱に対応する組織「国境管理センター (Border Operating Centre)」を新設。また、国境管理・貨物検査の処理能力を高めるため、管理施設を整備。

## 3. EU向け貨物トラック・書類手続き支援

貨物トラックに対して貿易関連書類の事前確認を行うオンラインサービスを実施。政府当局は日々相手国から書類ミス情報を収集して、事業者へフィードバック。

## 4. "Kermit" ケント州向け高速道路の交通確保

ドーバー港・海峡トンネルに向かう英南部ケント州の高速道路について、専用路線、渋滞時の収容施設を整備するとともに、Kermit (Kent Access Permit) のオンライン事前取得を義務化するなど、交通管制を徹底。(その後交通状況が良好だったことを受け、Kent Access Permitは4月に廃止)

## 国境間の物流問題を回避

|                             |        |       |
|-----------------------------|--------|-------|
| UKからの出国時に書類不備で突き返されたトラックの割合 | 1月8%   | →2月2% |
| フランス側の国境管理で一旦停止を受けたトラックの割合  | 1月ほぼ全て | →6月7% |

## 国境管理拠点の整備 £ 800Mの投資

(さらにGov.ukにて、全国46カ所に設置した道路輸送事業者向け情報提供拠点を地図上にマッピングして提示)



フランス側の税関も、政治的な論争に惑わされず、実務と効率性の確保を徹底。貨物トラック専用レーンを大幅に増設

# 1-2 | BREXITの影響(2) – ハブ機能喪失・食品業に大打撃

- EU域内外からUKに物資を集積・加工して、EU各地に配送するというハブ機能は喪失。
- 鮮度低下、規制対応コスト発生のため、食品業は1月に75%減、2月も40%減少。
- 大手企業、付加価値の高い製造業等では深刻な影響は、少なくとも短期には発生せず。
- 北アイルランドでは、同じ国内に違う規制が適用される制度的矛盾により、混乱が拡大。

## <グレートブリテンGB⇄北アイルランドNI>

- 主要スーパーで生鮮食品が不足、物流業はSPS通関の能力不足を問題視。
- EUとUKの医薬品規制当局からの二重規制となる大衆薬品等の出荷停止の動き。
- 冷蔵食肉(ソーセージ等)の輸出も困難に。

## アイルランド

IT拠点、法令対応拠点として人気。ただし、陸送からの転換でコスト増。

## <アイルランド⇄英国>

- これまで最速ルートであった英国内経由を迂回すべく、仏、蘭、西等へ直接海上輸送するルートを増設。

## オランダ

大陸向け物流、在庫拠点に加えて、法令対応のための拠点を設ける企業が大幅増。

## <生鮮食品輸出業者>

- 不慣れな書類手続き、システムの不具合等が重なり、輸出出荷の遅延が発生、生鮮品として商品価値が低下。

## <食品加工業者>

- 単純な加工や缶詰・瓶詰は原産地要件を欠き、関税発生。(例) 粉チーズ、トマト缶、ナッツ詰合せ

## <大手資本・製造業・高付加価値業>

- 事前にBCPを入念に準備して対応(コロナの方が影響大)。
- 元来、日系企業はEUとの貿易実務に精通。
- 単なるコスト問題に帰結、リロケーションの要否が課題。



# 1-3 BREXITの影響(3) – 非関税障壁の発生

- 英EU間は関税がゼロになった一方で非関税障壁が発生。英国は柔軟な運用による激変緩和を指向。EUはBREXITの不利益を見せつけるため、規制を徹底遵守して激変維持を指向。  
Cf.国境でトラック運転手のハムチーズ・サンドイッチを取り上げ。
- 北アイルランド問題では、英の移行措置期間延長をEUが離脱協定違反として提訴の構え。
- 事業者からは、貿易実務の面では、欧州大陸よりも東南アジアへ輸出する方が楽、との声も。

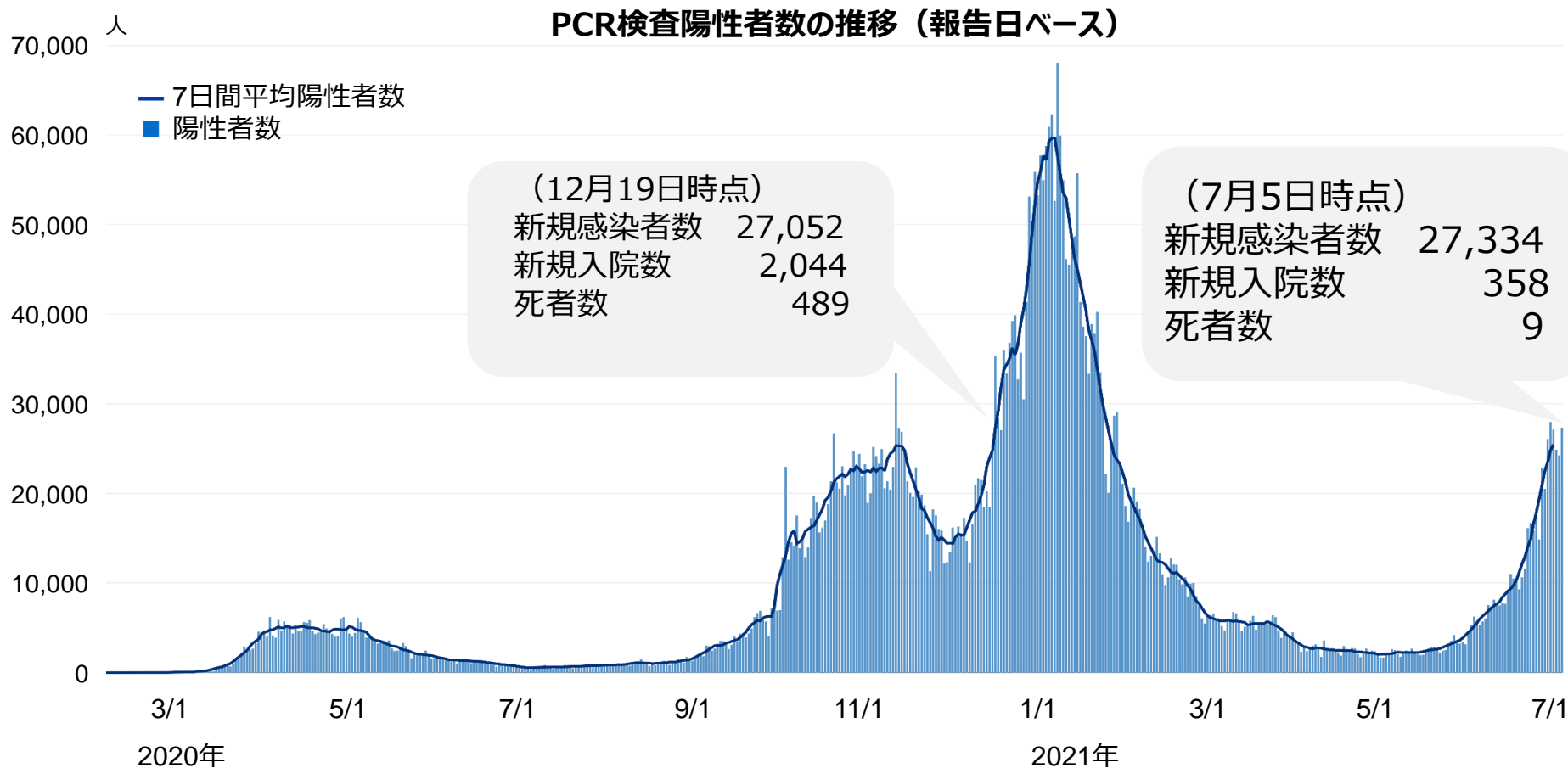
英米慣習法：これまで問題がなく、ほぼ同じ制度。問題解決のために運用面で非関税障壁を撤廃していくべき。  
 欧州大陸法：規則は規制、即施行。同等性、相互承認を認める気もない。非関税障壁を維持すべき。



| 事業者を悩ます非関税障壁 “teething problems” or “structural issues” |  |   |  |  |
|---|--|---|--|--|
|   | お役所手続き   | 手数料・税金  | 許認可の再取得  | 北アイルランド  |
| 問題点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>RED TAPE：各種書類作成、煩雑な手続き</li> <li>インフラ、人手不足</li> <li>原産地証明、SPS発生</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出入に係る諸コスト：取扱い手数料、保管手数料、運送サーチャージ、VAT、税務処理</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>シングルパスポートを失い、EU各国で個別に許認可の取得、基準認証適合性の証明が必要</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>北アイルランドと英国本土の間で税関手続き、北アイルランドはEU規制に依拠</li> </ul> |
| 影響大   | <ul style="list-style-type: none"> <li>鮮度が重要な海産物</li> <li>中小企業、個人事業主</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>多品種少量・低単価商品</li> <li>中小企業、個人事業主</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>金融、物流等の許認可業</li> <li>会計、法務等の専門資格</li> <li>基準認証が必要な製品</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>食品、日用雑貨等のドメスティック製品</li> <li>薬品等の規制品</li> </ul>  |
| 見通し   | <ul style="list-style-type: none"> <li>インフラ整備/DX化、職員の習熟度向上</li> <li>鮮度ビジネスは困難</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>固定的にコストが継続</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>他のFTAでは同等性評価/相互承認、MRA相互承認</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>国内に一国二制度を抱えることになり、構造的矛盾を露呈</li> </ul>           |

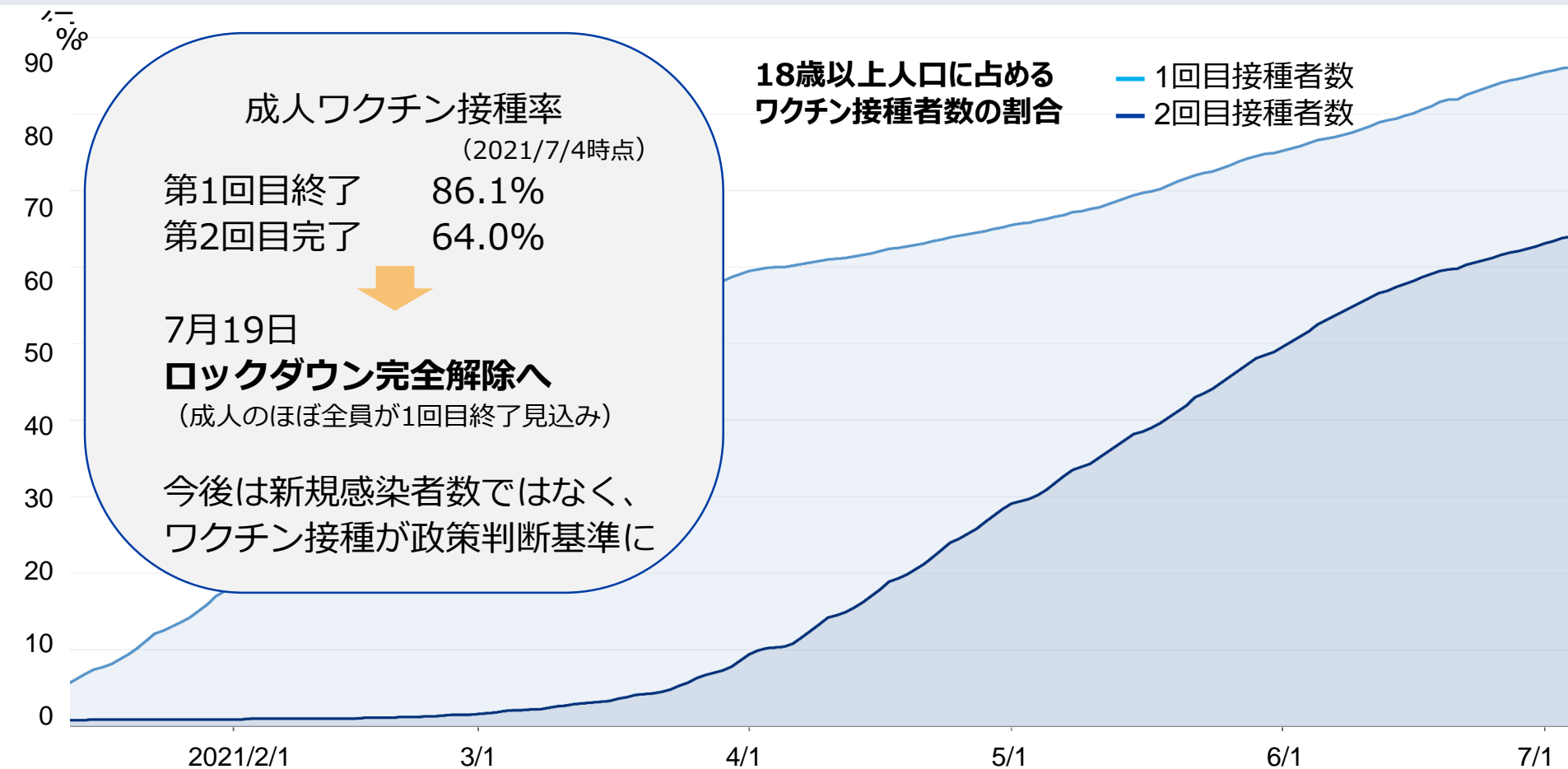
## 2-1 | 英国の新型コロナウイルス感染の状況

- デルタ変異株の流行によりコロナ新規感染者数は6月下旬から再拡大。ただし、感染者はワクチン未接種の若年層が中心であり、また、死者数、入院数ともに極めて低水準で推移。
- コロナワクチン完了によって、変異株に対しても重篤化を約95%回避できる効果あり



## 2-2 | 英国の新型コロナウイルスワクチン接種状況

- 英国政府は、全国統一の医療基盤であるNHSのネットワーク、アプリ、データベースをフル活用して、昨年12月8日からワクチン接種を開始。
- 以来、ロジスティクスに英国軍を動員し、ボランティアにも注射器を持たせ、薬局から駐車場、倉庫、競技場等まであらゆるスペースを利用するなど、戦時下に似た体制でワクチン接種を遂

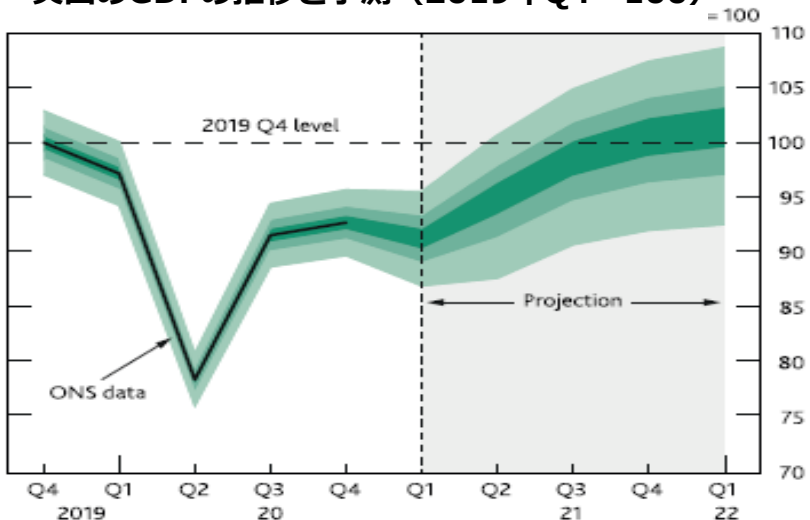




# 3-1 | 英国の経済状況と今後の見通し

- 昨年秋はBREXITとコロナのダブルで景気底割れ、経済破綻との声もあったが、個人消費、製造業が復活。
- 英国経済の見通しは相次いで上方修正。GDPも今年中にはコロナ以前の水準に戻るとの予測が強まっている。

英国のGDPの推移と予測（2019年Q4 = 100）



(出所) イングランド銀行

実質GDP成長率予測 (%) (2021年3~5月発表)

| 機関       | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|----------|-------|-------|-------|
| イングランド銀行 | △9.8  | 7.3   | 5.8   |
| OECD     | △9.8  | 7.2   | 5.5   |
| 国際通貨基金   | △9.9  | 5.3   | 5.1   |
| 英国予算責任局  | △9.9  | 4.0   | 7.3   |

英仏独の実質GDP成長率予測 (%)

| 国    | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|------|-------|-------|-------|
| 英国   | △9.8  | 5.0   | 5.3   |
| ドイツ  | △4.9  | 3.4   | 4.1   |
| フランス | △8.1  | 5.7   | 4.2   |

(出所) 欧州委員会春季経済見通し (2021年5月12日発表)

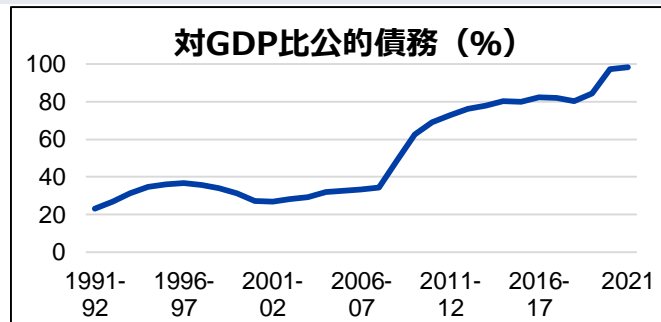
ロンドン証券取引所株価指数 (FTSE100) の推移



## 3-2 | 政府の重点政策：2021年度予算（2021年3月）

- コロナからの復興を着実に進めるため、雇用対策や中小企業対策の延長を行うとともに、環境、インフラ分野への重点的投資を開始、また、法人税の引上げによる財政改革にも着手。

| 分野    | 内容   |
|-------|--|
| 事業者支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>個人事業主への所得支援制度（SEISS）</b>： 9月まで延長。</li> <li>・ <b>VAT減税</b>： 観光、ホスピタリティ業界に対するVAT減税措置（20%→5%）を2021年9月末まで延長。なお、10月から12.5%となり、2022年4月以降は従来の20%へ引上げ。</li> <li>・ <b>事業税免除</b>： 小売り・ホスピタリティ・レジャー産業の事業税免除は6月末で終了。7月から2022年3月まで2/3に軽減。</li> <li>・ <b>リスタート助成金</b>： 再開予定の非生活必需品小売事業者に対し、1施設あたり最大6,000ポンドを支給。ホスピタリティや宿泊施設、レジャー、ジム等には最大1万8,000ポンドを支給。</li> <li>・ <b>リカバリーローンスキーム</b>： 4月6日より、2万5,000～1,000万ポンドの貸付に対し、80%の保証を貸し手に提供。</li> <li>・ <b>キャッシュレス拡充</b>： 非接触型カード決済の上限を1回あたり100ポンド、累積で300ポンドへ2021年後半から引き上げ。</li> </ul> |
| 雇用者支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>給与給付制度（CJRS）</b>： 一時帰休従業員への給与を2,500ポンドを上限に補償。2021年9月末まで延長。ただし、7月から10%、8月からは20%の雇用主負担を導入して、経営の自立再建を促す。</li> <li>・ <b>Apprentice（見習い）支援</b>： 4月から9月までの新規見習い雇用に対する支援金を3,000ポンドに倍増。</li> <li>・ <b>最低賃金の引上げ</b>： 全国最低賃金を8.91ポンド/時に引き上げ。</li> </ul>  |
| 投資促進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>「英国インフラ銀行（UK Infrastructure Bank）」の設立（英国中部リーズ）</b>： 民間企業や地方自治体のインフラ事業に資金を供給。当初の事業規模（投融資等上限額）は、出資50億ポンド、融資70億ポンド、保証100億ポンド。</li> <li>・ <b>環境債</b>： 150億ポンド発行予定。個人向けにも一部発行。</li> <li>・ <b>減価償却</b>： プラントや機械等の設備投資に対し、初年度に投資額の130%を損金算入・税額控除（2023年3月末まで）</li> <li>・ <b>地域格差是正（Leveling up）</b>： 国内10カ所以上に経済特区として「フリーポート」を設置、ほか。</li> </ul>  |
| 税金    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>法人税引上げ</b>： 2023年から年間利益が25万ポンド以上の企業を対象に、現行の19%から25%に引き上げ。5万ポンド未満の企業は19%のまま据え置き。5万ポンド以上～25万ポンド未満の企業には、25%からの軽減税率が適用。迂回利益税は現行の25%から31%に引き上げ。</li> <li>・ <b>相続税</b>： 現行の非課税枠を2025年度末まで現行基準を維持。</li> <li>・ <b>キャピタルゲイン課税</b>： 年間非課税額は2025年度末まで維持。</li> <li>・ <b>アルコール関税</b>： ビール等のアルコールに係る関税凍結を維持。</li> <li>・ <b>燃料税</b>： 2022年まで凍結（11年連続の凍結）。</li> </ul>  |



## 4 | ポスト・コロナの産業戦略：機動力の発揮

- BREXITによって可能となった国策運営を最大限活用して、官僚主義を廃し、迅速な許認可、公的助成手続きを実現、企業の事業展開を加速化。
- BREXITは結果的に低付加価値産業の新陳代謝、産業構造改革を引き起こしている。

### 1. “Nimble” regulation and “agile” government

- 英国独自の国家補助金制度を新設。EUの事前審査、多段階の手続きがなくなり、産業特性に応じた補助制度と執行スピードを確保。
- 迅速な医薬品審査によって国産ワクチンを早期実用化。
- 革新技術の実証を行うサンドボックスを展開、Fintech等を育成。

### 2. Innovative business creation

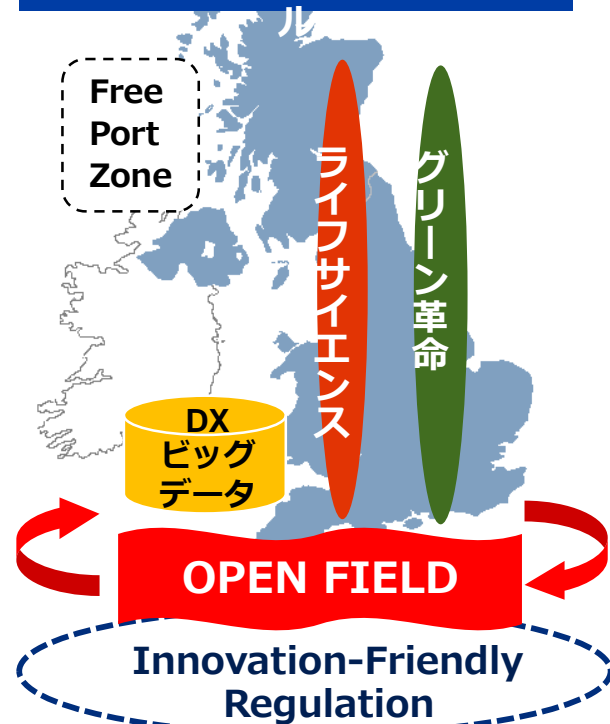
- スタートアップ支援の1Bポンド規模のFuture Fund、BEIS傘下にa new “blue-skies” scientific research agencyの設立、ビジネス創出支援補助、ライフサイエンス官民ファンドの創設を準備、検討中。
- 2019年にGreen Finance Institute (GFI) を設立、21年にSovereign Green Bondsを発行予定、25年までにTCFDに沿った気候変動エクスポージャーの開示義務化。Global voluntary carbon marketsを育成。

### 3. 経済安全保障 Resilience

- 2020年春先、医療用PPEのほぼ全てを国外に依存していたために医療現場が窮境(EUが輸出制限)。現在、国産比率は70%までに上昇。国内でワクチン開発、国内5か所の生産拠点を確保。抗体検査の国内開発に着手。
- EVに対応するため、2030年までに60GWh分のバッテリーを国内生産が必要との試算(SMMT)。日産が国内増産、British Voltは新工場。
- 5G通信網からHUAWEI製品の完全排除を決定。NECとのオープンLANネットワーク実験等を行うとともに、国産メーカーを育成。

GDP £2,112B

戦略的重点分野  
グリーン、ライフサイエンス、Fintech、データ/デジタル



# 5-1 | コロナ対策とライフサイエンス国家戦略

- 6月16日にワクチン1回目接種が全成人人口の80%を突破。7月19日までに、全成人へのワクチン1回目接種と、5月半ばまでに1回目接種を終えた40歳以上への2回目接種を完了することを目指す。
- コロナ検査を大幅に拡充整備し、その11%以上を遺伝子解析。併せてワクチン開発を行うことで、コロナ対応とライフサイエンス分野の発展を戦略的に遂行（tRNA技術、ウィルスベクター等）。

## 2020年

産学連携によるプロジェクトを開始  
12月8日 ワクチン接種開始

## 2021年

### 1回目接種

2/02 累計1,000万人突破  
2/27 累計2,000万人突破  
3/27 累計3,000万人突破  
4/12 50歳以上への接種完了  
6/04 累計4,000万人突破  
7/4時点 45,351,719人に接種  
(成人人口の86.1%)

### 2回目接種

4/18 累計1,000万人突破  
5/15 累計2,000万人突破  
6/14 累計3,000万人突破  
7/4時点 33,726,362人に接種  
(成人人口の64.0%)

### <免疫強化・変異株対応>

9月頃より、70歳以上の高齢者から  
ワクチンのブースター（追加免疫）  
接種開始を計画中。

PCR検査能力 608,654件/日  
検査実績 累計 213,558,757件  
遺伝子解析（推定）約50万件以上  
(2021年7月4日時点)

## Oxford大/AstraZeneca共同開発

## ワクチン生産拠点 国内6カ所（次ページ）

## PANDEMIC RESILIENCE

- ・ 感染拡大の早期警告
- ・ ワクチン開発の大幅短縮化
- ・ 治療法・診断法の共同開発
- ・ デジタル・ヘルス

## G7サミット

(6月11~13日、英国コーンウォール)

- ・ 今後1年でワクチン10億回分を途上国に供与  
(資金提供分を含む)
- ・ ワクチン開発期間を100日間に短縮
- ・ 変異株情報等の共有強化
- ・ ワクチン原材料や医療器具の供給網拡大  
2022年までのパンデミック終息目標を設定

## 2016年6月 BREXIT国民投票

## 2018年

VMIC (Vaccines Manufacturing and Innovation Centre) 計画決定

## 2020年

- ① 感染予防対策  
検査体制の構築  
遺伝子解析・変異種モニター
- ② ワクチン対策  
国内研究開発・生産、世界最速  
の医薬品審査、大規模接種体制
- ③ 医療器具、検査装置の国産化
- ④ VMIC稼働開始（年後半予定）
- ⑤ Cell and Gene Therapy  
Catapult Manufacturing  
Innovation Centre (CG MIC)  
稼働開始（12月予定）

## 2021年

ライフサイエンス官民ファンド設立

## 5-2 | 新型コロナウイルスワクチン開発・生産からゲノム創薬拠点へ

- ワクチンの調達を進めると同時に、国内生産拠点の誘致に成功。国内でのワクチン接種が完了した次の段階には、ワクチンの世界供給基地となることを計画。
- 6月末までに1億件を超えるPCR検査を実施。5月下旬までに約450万件のウィルス検体を収集し、うち50万件超の遺伝子配列解析を行い（11.2%）、ゲノムデータベースを整備。これを生かすべく、2021年中にVMIC、CG MICを設立して、変異種への対応を行うとともに、ワクチンやゲノム医薬の開発を推進。

### バルネバ (仏)

- 製造拠点：リビングストン
- ワクチン種別：不活化
- 確保数量：1億回分

### オックスフォード大学 (英) / アストラゼネカ (英)

- 製造拠点：オックスフォード、ニューカッスル・アンダー・ライム、レクサム (充填・包装)
- ワクチン種別：アデノウイルス・ベクター
- 確保数量：1億回分

### キュアバック (独)

- 製造拠点：未確定
- ワクチン種別：mRNA
- 確保数量：5,000万回

### ノババックス (米)

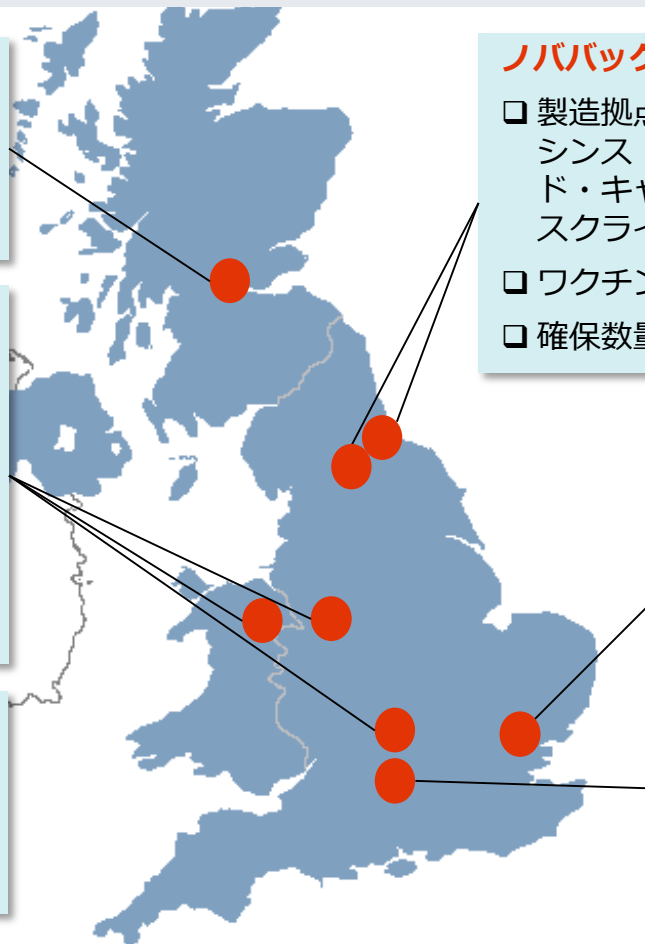
- 製造拠点：ビルingham (フジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ)、バーナード・キャッスル (充填・包装、グラクソ・スミスクライン)
- ワクチン種別：アジュバント蛋白質
- 確保数量：6,000万回分

### 細胞・遺伝子治療カタパルト製造イノベーションセンター (CG MIC)

所在地：ブレインツリー

### ワクチン製造イノベーションセンター (VMIC)

所在地：ハーウェル







# 6-1 英国のデジタル戦略

- 世界トップレベルのデータ流通量を持つ英国は、国家戦略としてデジタルを自国の産業発展基盤に位置付け、データ基盤整備を実行するとともに、人材育成、人工知能の開発と社会応用を推進。

## 「国家データ戦略」の主要4本柱（2020年9月）

- ① データ基盤（標準化・アクセス性能、レガシー/技術的障害除去、Chief Data Officerの設置、国際的互換性）
- ② データスキル（人材開発、IT人材の教育・育成）
- ③ データ利用可能性（公的なデータの公開、モバイル端末の接続性、データの再利用）
- ④ 責任あるデータ利用（コンプライアンス、サイバーセキュリティ、公正なデータ利用）

## 「AIセクターディール」（2018年4月）

- ① 安全、倫理面かつイノベティブな活用
- ② データドリブン技術の活用
- ③ 独立機関「Centre for Data Ethics and Innovation」を設置

## 「AI Skill and talent package」（2019年2月）

5年間で1,000名の博士課程修了者を供給するとの目標設定

【GOV.UK】 政府の23省庁、413関連機関全ての情報を一元化、難解な役所言葉を排除、リアルタイムで更新

**Welcome to GOV.UK**  
The best place to find government services and information  
Simpler, clearer, faster

Search on GOV.UK

Popular on GOV.UK  
Find out the coronavirus restrictions in your local area  
Travel advice: coronavirus (COVID-19)  
Brexit transition: check the new rules for January 2021  
Find a job  
Sign in to your Universal Credit account

**Benefits**  
Includes eligibility, appeals, tax credits and Universal Credit

**Births, deaths, marriages and care**  
Parenting, civil partnerships, divorce and Lasting Power of Attorney

**Business and self-employed**  
Tools and guidance for businesses

**Childcare and parenting**  
Includes giving birth, fostering, adopting, benefits for children, childcare and schools

**Citizenship and living in the UK**  
Voting, community participation, life in the UK, international projects

**Crime, justice and the law**  
Legal processes, courts and the police

**Disabled people**  
Includes carers, your rights, benefits and the Equality Act

**Driving and transport**  
Includes vehicle tax, MOT and driving licences

**Education and learning**  
Includes student loans, admissions and apprenticeships

**Employing people**  
Includes pay, contracts and hiring

**Environment and countryside**  
Includes flooding, recycling and wildlife

**Housing and local services**  
Owning or renting and council services

**Money and tax**  
Includes debt and Self Assessment

**Passports, travel and living abroad**  
Includes renewing passports and travel advice by country

**Visas and immigration**  
Visas, asylum and sponsorship

**Working, jobs and pensions**  
Includes holidays and finding a job

(出所) <http://www.gov.uk/>

(ワクチン・オンライン予約)  
: NHSから対象者に順次メール通知、スマホから1分で予約可能

**NHS**  
Health A-Z Live Well Mental health Care and support

Home > Health A to Z > Coronavirus (COVID-19) > Coronavirus (COVID-19) vaccines

### Book or manage your coronavirus (COVID-19) vaccination

Use this service to book a coronavirus (COVID-19) vaccination or manage your appointments.

If you've already booked a vaccination appointment through a GP or local NHS service, you do not need to book again using this service.

(ワクチンパスポート)  
: NHSアプリでワクチン接種記録を管理、ワンタッチで、接種証明書を発行

**NHS**  
Home Help More

### Your NHS COVID Pass

You need to show this when asked by officials.

Before you travel you'll need to:

- check the [entry requirements for your destination](#)
- make sure your vaccination information is correct

Vaccinated against COVID-19

サンプル

2D barcode expires  
30 July 2021

The 2D barcode refreshes every time you log in. If you generate a PDF copy of your pass, the barcode will expire 30 days from date of issue. To get a new one, just log back in.

COVID-19 Vaccine AstraZeneca  
Dose 2



## 6-2 | 英国フィンテック産業の拡大

フィンテック・ランキングで英国・ロンドンは国・都市ともに**世界第2位**を獲得。

- 英国内のフィンテック企業は増加の一途をたどる。
- 現在ではロンドン市内を中心に**2,500社超**にまで拡大。

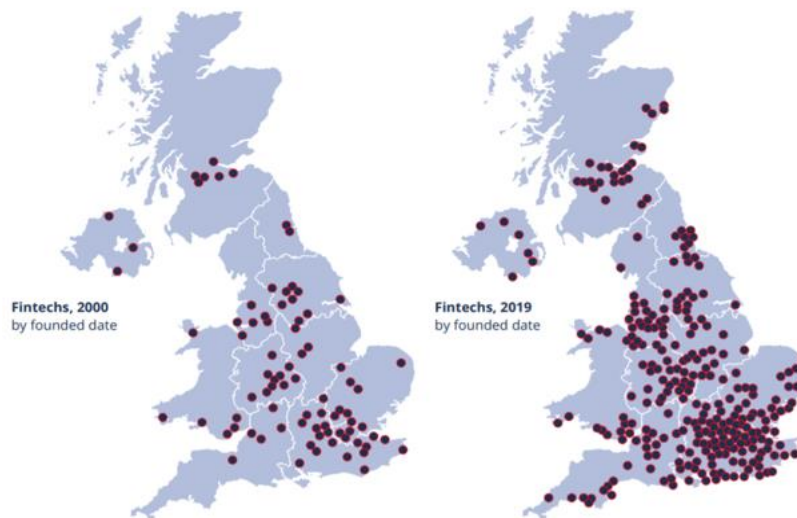
| 国別ランキング   |           | 都市別ランキング  |             |
|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 1         | 米国        | 1         | サンフランシスコ    |
| <b>2</b>  | <b>英国</b> | <b>2</b>  | <b>ロンドン</b> |
| 3         | シンガポール    | 3         | ニューヨーク      |
| 4         | リトアニア     | 4         | シンガポール      |
| 5         | スイス       | 5         | サンパウロ       |
| 6         | オランダ      | 6         | ロサンゼルス      |
| 7         | スウェーデン    | 7         | バンガロール      |
| 8         | オーストラリア   | 8         | ボストン        |
| 9         | カナダ       | 9         | ベルリン        |
| 10        | エストニア     | 10        | ムンバイ        |
| <b>22</b> | <b>日本</b> | <b>17</b> | <b>東京</b>   |

(出所) Findexableレポート(2020)を基にジェトロ作成

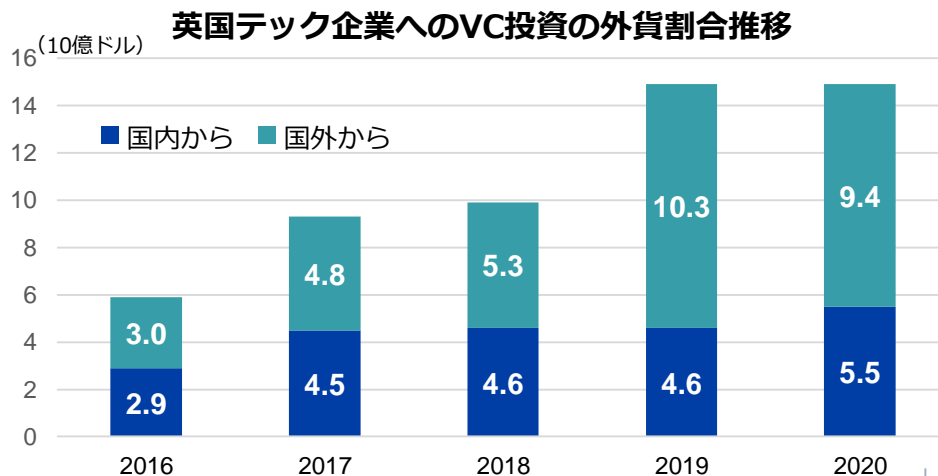
■ フィンテックを含む英テック企業へのVC投資における**外貨割合は増加傾向**。2020年時点では**6割超**が国外からの投資。

■ 近年ではロンドン以外の都市にも拡散しており、特に有力大学が近郊にあるバーミンガム、マンチェスターなどでも集積が進んでいる。

図 英国のフィンテック企業数推移 (左:2000年、右:2019年)



出所: Kalifa Review of UK Fintech



出所: Tech Nationを基にジェトロ作成

Copyright © 2021 JETRO. All rights reserved.

# 7 国際的金融ハブとしてのロンドン

- 歴史的にオフショアで発展、米国と並ぶ世界シェアを維持。人材、情報、リーガル等で金融ハブとして深い裾野あり。BREXITを機に英国当局が自由裁量で洗練された規制を行うことが可能になり、金融集積の誘因に。
- Fintechの市場規模は£ 7B、2015/19で約70%成長。同分野への民間投資額は£ 4.1B、世界の1割を集める。2021年に初のグリーンボンドを発行予定、25年までに気候変動エクスポージャーの開示義務化。

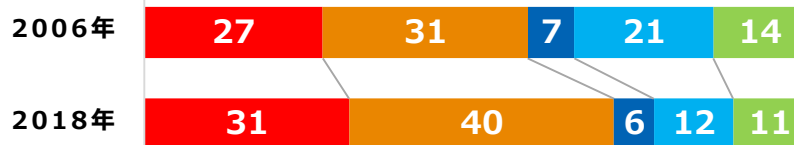
世界金融市場における主要国のシェア (%)

| 項目                | 英国 | 米国 | 日本 | 仏  | 独 | シンガポール |
|-------------------|----|----|----|----|---|--------|
| クロスボーダー銀行貸付       | 15 | 10 | 13 | 10 | 7 | 2      |
| 外国為替取引            | 43 | 17 | 5  | 2  | 1 | 8      |
| 金利OTC<br>デリバティブ取引 | 50 | 32 | 2  | 2  | 1 | 2      |
| 資産管理              | 6  | 46 | 7  | 4  | - | -      |
| 保険プレミアム           | 6  | 39 | 7  | 4  | 4 | 0      |
| 国際債券取引残高          | 13 | 9  | 2  | 6  | 5 | 1      |

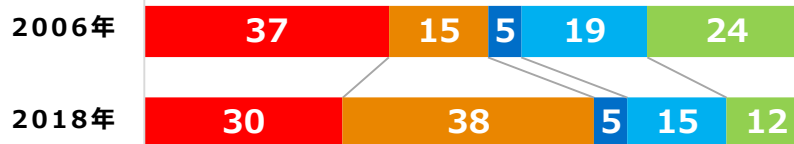
(出所) TheCityUK

主要国・地域ごとのシェアの推移 (%)

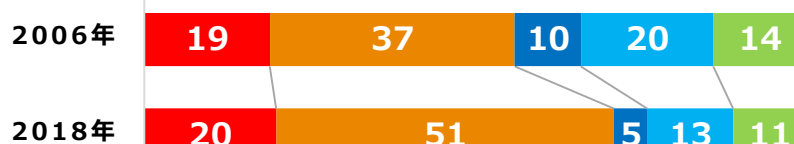
## 株式発行額



## 社債発行額



## 新規公開株式



■ 米国 ■ アジア太平洋 ■ 英国 ■ EU ■ その他

(出所) New Financial

# ご清聴ありがとうございました

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ロンドン事務所長

中石 齊孝



[ldnresearch@jetro.go.jp](mailto:ldnresearch@jetro.go.jp)



MidCity Place, 71 High Holborn  
London, WC1V6AL, U.K.

## ■ ご注意

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。